

保育園の先生に聞いてみた！こんな時って・・・



NO 1. おもちゃを出しても片づけない

子どもが楽しめるお片付け術

1 実況中継してみる！

「今回もお片付けの時間がやってきました！」 ※少し明るめのトーンで伝えてみましょう
そのあと、気持ちののるまでは片付けのすべての動作を実況中継していきます。

「〇〇くんが 青のブロックを持ちました。さあ無事にブロックのおうちに連れて帰ってあげられるでしょうか？」・・・「青のブロックは、ちゃんとおうちに帰れて喜んでます」「赤いブロックが僕もおうちに帰りたいよーって泣いています。」「〇〇くんは赤のブロックを連れて帰ってあげるようです。〇〇くんはなんて優しいのでしょうか」 など

※おもちゃの箱ではなく、“おもちゃのおうち”と表現する

2 ママと片付け競争！

“ママは赤いおもちゃ 〇〇ちゃんは青いおもちゃ” とか ママは道 〇〇ちゃんはミニカー“
と決めて「片付け競争よーいドン！」

※初めての時は、ママがたくさん出ている種類を受け持つ。わざと負けて「わあ 負けた～」とすごく残念がる。子どもが「私は〇〇を片付ける」と決めた時には量の差があっても本人の意思を尊重するが、量が少ないとわかっていて言っている場合には「え～いつも少ないのばかり～」とママがぐずってみるのも・・・

3 BGM で、のりのり気分で！

保育現場では音楽を流すと、のりのりで片付ける姿が見られます。ルールは、音楽がなり終わるまでに片付けも終わらせること！子どもが流す曲を決めてもいい。（歌を知っているという曲が終わるか分かる）応用で途中で曲を止め、その間は動かないというルールもあり！あえて変なポーズでママが止まってみると余計楽しくなるかも・・・

4 壊したく作品は、場所を決めて展示する！

ブロックや粘土・工作など 満足のいくいいものが作れたら、壊して片づけてしまうのは嫌なはず。棚の上とかスペースを決めて飾っておく。「パパが帰ったら見せよう」見たら褒めてもらう。スペースがいっぱいになったら、子どもと相談して何を片づけるか決めさせる。粘土などは乾いてしまうことを教えて見てもらったら片づける。工作は写真に残すなど子どもが納得がいくようにしてあげましょう。